

[第36回定時株主総会 主な質疑応答 (要旨)]

- Q1. PS 事業について。ダイコク電機(株)株式の取得やソフィアグループの子会社化など行っているものの、株式市場での評価は低いと感じている。グローバル IP カンパニーを目指す中で、国内市場である PS 事業に積極投資する意図を伺いたい。
- A1. グループ一丸となり大きな成長を実現していくためには、収益力の柱と位置付ける PS 事業にも一定の投資が必要であると考えている。ソフィアグループに関しては、当社が目標とする「ホールが地域に暮らすすべての人々に満足できる健全なエンタテインメント空間の提供」を目指すうえで、空間プロデュース能力に優れる同社は非常に価値があり、グループ全体の成長に繋がる投資と考えている。
- Q2. 中国で開催されたウルトラマンショーにおいて、日本コンテンツに否定的な中国人が乱入する騒動を YouTube で見た。中国向けのビジネスを現状どのように考えているのか。
- A2. 中国では多くの方々にウルトラマン関連のコンテンツを楽しんでいただいている。一方、グローバルビジネスにおいては国を問わずカントリーリスクを踏まえたビジネス展開が重要と考えているため、中国においても常にパートナーと協力しながら取り組んでいるところである。当社では、ウルトラマン IP が持つ世界観、ストーリー、キャラクターの魅力をしっかり描きながら、日本や中国のみならず世界各国の人々に愛されるヒーローとなるよう、真剣に取り組んでいく所存である。
- Q3. 今後展開予定の新しい「ウルトラマンカードゲーム」はどの程度の成功を目指しているのか。
- A3. 今回当社が企画展開する新たな「ウルトラマンカードゲーム」は、グローバル展開を前提に企画・設計しており、将来的には世界大会を開催できるようなビジネスを目指している。第一弾発売の前後にはプロモーション活動もしっかりと行う等、成功のため精一杯の努力をしていく。
- Q4. 新たな「ウルトラマンカードゲーム」は新規顧客の獲得に向けどのように販売しているのか。
- A4. 円谷プロダクション(株)では自社コンテンツの強みや弱みを分析し、様々な商品カテゴリーでのマーチャンダイジング展開を企図しており、「ウルトラマンカードゲーム」はその中で生まれた商品の一つである。既存のウルトラマンファンはもちろんのこと、トレーディングカードゲームファンなど今までにない層に触れてもらうために、グローバルでのプロモーション活動をはじめ各種取り組みを進めている。

- Q5. 円谷プロダクション(株)がグローバル展開を進めることは、今後の成長を図る上で非常に重要なことだと考えている。一方で、国内展開についても同様に重きを置くべきだと考えている。国内事業を海外の人々を呼び込むような魅力的なものにするために何かしているか考えを伺いたい。
- A5. 円谷プロダクション(株)では海外展開のみならず国内事業も同様に注力しており、様々な取り組みを実施している。例えば、毎年のように新たなテレビシリーズを放送し劇場版作品の放映を行っている。そして、それに合わせたマーチャндаイジング展開やイベント、ライブショー等、体験の場を提供している。とくに、今期はこれまで東京池袋でしか実施していなかった大型イベント『ウルトラヒーローズ EXPO 2024 サマーフェスティバル』を大阪梅田でも実施する等、新しい取り組みもスタートしている。こうした各種取り組みを通じ、ウルトラマンというコンテンツを国内でも多くの人に愛されるものへと育てていきたい。

※本株主総会に関するご質問およびご意見・ご要望等のみ抜粋しております。